かがやき

令和８年１１月２日
守口市立寺方南小学校
学校だより第７号
校長　秋田 大介



学校教育目標　「自ら学び　心豊かに　たくましく」
～　一人一人が　いきいきと輝く学校　～

朝夕の空気がひんやりと感じられ、秋の深まりを感じる季節となりました。

１０月は、音楽会や校外学習、宿泊学習など、子どもたちがさまざまな体験をする機会がたくさんありました。友だちと声を掛け合い、力を合わせる姿や、活動を楽しむ笑顔がとても印象に残っています。

また、学校から駅までの見守りや、雨の中での2年生の校区探検など、多くのてらみなサポーターの皆様にご協力いただきました。子どもたちの学びを支えてくださる皆様に、心より感謝申し上げます。

実際に見たり、聞いたり、体験したりすることで、子どもたちは新たな発見をし、仲間と協力する楽しさや大切さを感じていました。こうした経験を通して、自分で感じ、考え、行動する力を、これからの学校生活にもつなげていってほしいと思います。

3年生「柿の渋抜き体験」

10月8日、和歌山県かつらぎ町から柿づくりに携わる方々にお越しいただき、柿の育て方や、収穫した柿が配送・販売されるまでの工夫について教えていただきました。話を聞く子どもたちからは、「おー！」「へえー！」「すごいなあ！」といったつぶやきが聞こえてきました。渋柿を少し味見すると、「チクチクする！」「しぶいー！」と驚きの声が。甘い柿も味わい、違いを実感していました。

最後には、渋柿のヘタにアルコールを浸して渋を抜く体験をしました。約１週間後、甘くなった柿を食べた子どもたちはびっくり。「甘くなっていたよ！」「家族でおいしく食べたよ！」と、うれしそうに報告してくれました。柿づくりの工夫やおいしさを知ってほしいという、かつらぎ町の皆様の思いが子どもたちに届いた、すてきな体験となりました。





2年生「まち探検」

10月26日、2年生がまち探検に出かけました。だんじり蔵やお店、郵便局などを訪れ、地域の方々にインタビューをしました。

普段、何気なく通っている場所にも、地域の方々の仕事や工夫、地域への思いがあることを知り、寺方南地域のよさを改めて学ぶことができました。

ご協力いただいた地域の皆様、保護者・てらみなサポーターの皆様、ありがとうございました。これから、探検で発見したことや学んだことを整理し、発表に向けてまとめていきます。

4年生「音楽会」

4年生は、学校の代表として、守口市音楽会と寺方南地域コミュニティ祭に出演しました。また、全校の子どもたちには、音楽集会で披露してくれました。

合奏「おどるポンポコリン」では、息の合った演奏を披露し、合唱「空も飛べるはず」では、仲間との出会いやつながりを大切にする思いが、歌声に込められていました。



一所懸命に演奏し、心を込めて歌う子どもたちの姿から、これまで練習を重ねてきた努力と、聴いてくださる方々に届けたいという気持ちが伝わってきました。子どもたちのひたむきな姿と歌声に、心を打たれるひとときとなりました。

5年生「林間学舎」

10月15日・16日の2日間、ユニトピアささやまでのアスレチック、るり渓でのハイキング、キャンプファイヤー、カレーづくりなど、豊かな自然の中でさまざまな活動を楽しみました。

特に、キャンプファイヤーでは、大きな炎を囲み、各クラスの出し物や、みんなで踊ったソーラン節で大いに盛り上がりました。最後に「ビリーブ」を合唱したときには、自然とみんなの輪が小さくなり、炎を囲んで歌う子どもたち。心が一つになったような、温かくすてきな時間となりました。



活動の中で、仲間に声を掛け合い、力を合わせる姿や、笑顔で楽しむ姿が心に残っています。

子どもたちには、「一人ひとりに力があります。仲間と協力する力、チャレンジする力、人を思いやる力。これからも自信をもって、感じ、考え、行動してください」と伝えました。この2日間で実感した自分や仲間の力を、これからの学校生活にもいかしてほしいと思います。

6年生「修学旅行」



10月30日・31日、6年生が広島平和記念公園と宮島を訪れました。

修学旅行に向けて、子どもたちは過去の戦争や現在の状況について一人ひとりが学び、平和新聞にまとめてきました。また、折り鶴集会では、全校の子どもたちが平和への願いを込めて折った折り鶴を披露し、平和の大切さを全校に伝えてくれました。

修学旅行当日、平和公園でセレモニーを行い、全校の子どもたちの願いが込められた「折り鶴」を捧げ、平和にむけて自分たちが取り組むことを誓いました。宮島では厳島神社の鳥居近くまでの散策、お土産選びを楽しんでいました。子どもたちにとって、仲間とともに学び、大切な思い出となった二日間でした。



仲間とともに過ごし、現地で学んだことや感じたこと、考えたことを大切な思い出として心に刻み、これからの行動につなげていってほしいと思います。